

一般社団法人

国立大学協会

The Japan Association of National Universities

2026



一般社団法人

国立大学協会

The Japan Association of National Universities

会長あいさつ



一般社団法人 国立大学協会
会長 藤井 輝夫（東京大学長）

国立大学は、わが国の発展を支える「知の拠点」として重要な役割を担っています。これからも常に新たな知を生み続けるとともにその活動を強化し、社会や国民の皆さまと対話しながら、わが国の「知の総和」の向上に国立大学全体として貢献してまいります。

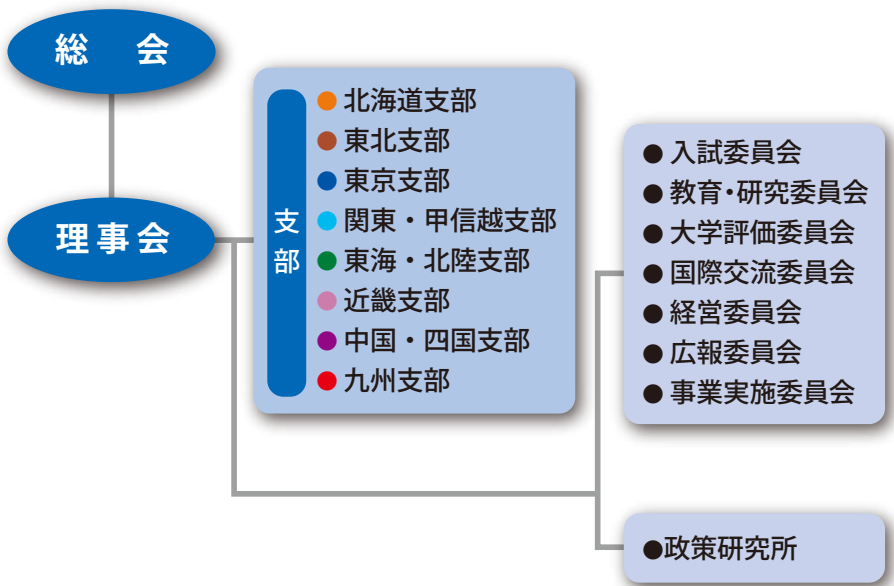
国立大学協会が2025年3月に公表した「わが国の将来を担う国立大学の新たな将来像」は、日本が長年培ってきた「知の拠点」である85の国立大学全体が「国立大学システム」として連携し、イノベティブな日本社会の創造に挑戦していくための施策を「決意」として示したものです。私が会長に就任してから、この将来像を具現化するために「将来像実現のための国立大学システム検討ワーキンググループ」を設置しました。この中で、「人材育成」「教育連携」「地方創生」といったテーマごとにタスクフォースを置き、それぞれの課題や役割を整理しながら、推進策や既存制度の改善案の検討を進めています。

国立大学が、その役割を果たすための基盤的経費である国立大学法人運営費交付金は、法人化以降、削減状況が続いていましたが、皆さまの多大なる応援もあって、令和8年度当初予算案において、対前年度188億円増となる1兆971億円が計上されました。これほど大幅な増額は法人化以来初めてのことであり、極めて画期的といえます。また、令和7年度補正予算においても、人件費への活用も可能な運営費交付金421億円をはじめとして、設備整備や附属病院への支援など、多くの国立大学向け予算が計上されました。これらはいずれも、国立大学への強い期待の表れであると受け止めています。

一方、国立大学が期待される役割を十分に果たしていくために必要な、研究設備・機器の老朽化対策や教育研究環境の維持向上等に向けた予算の確保については、まだまだ道半ばです。運営費交付金は、国立大学の教育研究活動を支える基盤であり、そのあり方については、社会全体で議論を深める必要があると考えています。その議論を広げるためにも、国立大学の現状や取組を積極的に発信してまいります。

最後に、国立大学の存在意義は、ひとえに社会の発展と国民の幸福にあり、教育研究をはじめとする国立大学の活動の一番の受益者は国と国民全体です。国立大学協会としても、社会や国民の皆さまとのコミュニケーションをより豊かにして国立大学の活動をご理解いただくべく努力してまいります。わが国社会の高度化につながる未来への投資として、皆さまのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

組織図



役員等名簿

2026年4月1日現在

(◎は委員長)

会長(理事)	藤井 輝夫	【東京大学長】	
副会長(理事)	寶金 清博	【北海道大学長】	◎ 大学評価委員会
	越智 光夫	【広島大学長】	◎ 経営委員会
	梅原 出	【横浜国立大学長】	◎ 入試委員会
	喜納 育江	【琉球大学長】	◎ 広報委員会 / ◎ 政策研究所運営委員会
専務理事	林 佳世子	【前東京外国語大学長】	広報委員会
常務理事	村田 善則	【国立大学協会事務局長】	広報委員会
顧問(理事)	永田 恭介	【筑波大学長】	◎ 国際交流委員会
理事	松田 瑞史	【室蘭工業大学長】	入試委員会
	富永 悌二	【東北大学長】	教育・研究委員会
	佐野 孝治	【福島大学長】	入試委員会
	大竹 尚登	【東京科学大学理事長】	国際交流委員会
	佐々木 泰子	【お茶の水女子大学長】	広報委員会
	横手 幸太郎	【千葉大学長】	経営委員会
	松尾 清一	【東海国立大学機構長】	◎ 事業実施委員会
	和田 隆志	【金沢大学長】	教育・研究委員会
	伊藤 正明	【三重大学長】	入試委員会
	湊 長博	【京都大学長】	◎ 教育・研究委員会
	熊ノ郷 淳	【大阪大学長】	経営委員会
	塩崎 一裕	【奈良先端科学技術大学院大学長】	教育・研究委員会
	佐古 秀一	【鳴門教育大学長】	大学評価委員会
	石橋 達朗	【九州大学長】	経営委員会
	小川 久雄	【熊本大学長】	大学評価委員会
	鮫島 浩	【宮崎大学長】	事業実施委員会
	永田 敬	【総合研究大学院大学長】	事業実施委員会
	岡本 幾子	【大阪教育大学長】	広報委員会
	那須 保友	【岡山大学長】	国際交流委員会
監事	春名 展生	【東京外国語大学長】	
	受田 浩之	【高知大学長】	
会長補佐	長谷山 彰	【北海道国立大学機構理事長】	
	南谷 佳弘	【秋田大学長】	
	中村 和彦	【山梨大学長】	
	小畑 誠	【名古屋工業大学長】	
	竹村 彰通	【滋賀大学長】	
	川合 真紀	【自然科学研究機構長】	

事業内容

国大協の目的(定款第4条)

各国立大学法人が実施する教育・研究及び社会貢献に関する多種・多様な活動において、質の高い成果を挙げるための環境作りを行い、もって国立大学法人の振興と我が国の高等教育・学術研究の水準の向上及び均衡ある発展に寄与する。

国大協の事業(定款第5条)

- (1) 国立大学が質の高い教育、学術研究及び社会貢献を推進するために必要な事業
- (2) 自主的政策立案、国の高等教育政策や学術研究政策等に関する政策提言のための調査研究
- (3) 国際パートナーシップを基本とした国際交流事業
- (4) 国立大学法人の経営に関する支援
- (5) その他目的を達成するために必要な事業

主な活動(2025年度)

総会・理事会

- ・総会(6月、11月、1月、3月)
- ・理事会(4月、5月、7月、10月、12月、2月)

要望・提言活動等

- ・令和8年度予算における国立大学関係予算の充実及び税制改正等に関する要望(8月)
- ・2025年ノーベル賞受賞決定について(国立大学協会会長談話)(10月)
- ・全国知事会大村文教・スポーツ常任委員長(愛知県知事)と意見交換(10月)
- ・松本洋平文部科学大臣と令和8年度予算編成に向けた要望及び意見交換(12月)
- ・松本洋平文部科学大臣と「わが国の将来を担う国立大学の新たな将来像」の実現に向けた意見交換(1月)
- ・令和8年度国立大学法人運営費交付金予算について(国立大学協会会長コメント)(12月)

国際活動等

- ・外務省主催「第25回日独科学技術協力合同委員会」に参加(ハイブリッド/5月)
- ・イタリア大学長会議(CRUI)主催「The Italian Higher Education System at EXPO 2025 Osaka 1st Italian and Japanese Rector's Forum」に参加(大阪/5月)
- ・台湾高等教育国際合作基金会(FICHET)と共催で日台交流事業「2025 Taiwan-Japan University Presidents' Forum」を開催(熊本/7月)
- ・Jacqui Smith英国技能/女性・平等担当大臣が国立大学協会に来訪(7月)
- ・国際大学協会(IAU)主催「Global Meeting of Associations」に参加(ルワンダ・キガリ/10月)
- ・ドイツ大学学長会議(HRK)と共催で「2025日独大学リーダー会議(2025 German-Japanese University Leader's Meeting)」を開催(オンライン/12月)

セミナー・研修等

- ・国立大学法人等担当理事等連絡会議(6月)
- ・国立大学法人等部課長級研修(7月)
- ・国立大学法人トップセミナー(8月)
- ・ユニバーシティ・デザイン・ワークショップ(9月)
- ・国立大学法人等広報担当者連絡会(10月)
- ・国立大学法人等担当理事等連絡会議(11月)
- ・国立大学法人等若手職員勉強会(12月)
- ・国立大学未来共創シンポジウム(1月)
- ・国立大学法人新任学長(就任予定者)セミナー(2月)

刊行物等・広報活動

- ・広報誌「国立大学」(8月、12月、3月)
- ・広報誌「国立大学」別冊(8月)



第2回通常総会を開催
(北海道旭川市)



武部文部科学副大臣(当時)に
要望書を手交



日台交流事業「2025 Taiwan-Japan
University Presidents' Forum」



広報誌等を刊行

協会の構成員

国立大学協会は、全国81国立大学法人、85大学と
4研究機構により構成されています。

知の 総和

●正会員 (81国立大学法人、85大学)

北海道支部 (5法人、7大学)

北海道、北海道教育、室蘭工業、
北海道国立大学機構
(小樽商科、帯広畜産、北見工業)、
旭川医科

東北支部 (7法人、7大学)

弘前、岩手、東北、宮城教育、秋田、
山形、福島

東京支部 (11法人、11大学)

東京、東京外国語、東京科学、東京学芸、
東京農工、東京藝術、東京海洋、
お茶の水女子、電気通信、一橋、
政策研究大学院

関東・甲信越支部 (14法人、14大学)

茨城、筑波、筑波技術、宇都宮、群馬、埼玉、千葉、
横浜国立、総合研究大学院、新潟、
長岡技術科学、上越教育、山梨、信州

東海・北陸支部 (11法人、12大学)

富山、金沢、北陸先端科学技術大学院、
福井、静岡、浜松医科、
東海国立大学機構(岐阜、名古屋)、
愛知教育、名古屋工業、
豊橋技術科学、三重

中国・四国支部 (10法人、10大学)

鳥取、島根、岡山、広島、
山口、徳島、鳴門教育、
香川、愛媛、高知

近畿支部 (12法人、13大学)

滋賀、滋賀医科、京都、京都教育、
京都工芸繊維、大阪、大阪教育、
兵庫教育、神戸、
奈良国立大学機構
(奈良教育、奈良女子)、
奈良先端科学技術大学院、
和歌山

九州支部 (11法人、11大学)

福岡教育、九州、九州工業、
佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、
鹿児島、鹿屋体育、琉球

●特別会員 (4研究機構)

人間文化研究機構、自然科学研究機構、
高エネルギー加速器研究機構、
情報・システム研究機構



交通のご案内



電車

- ◎東京メトロ半蔵門線/都営地下鉄三田線/都営地下鉄新宿線
「神保町駅」下車 (A8出口から徒歩3分)
- ◎東京メトロ東西線
「竹橋駅」下車 (1B出口から徒歩4分)

車

- ◎首都高速道路
代官町
神田橋
一ツ橋 (5号線のみ)
- ▶ インターチェンジをご利用下さい。



一般社団法人
国立大学協会

<https://www.janu.jp/>